

和洋女大文家政。高橋和雄、三島学園女短大 田頭睦美

目的と方法 学校教育における被服製作を容易にするため、補正量を予め指示することでサイズと体形の両方に適合した原型を描画し、仮縫い時の補正を不要にしようと試みてきた¹⁾²⁾。サイズと体形をメニュー画面で選択し、補正を自動的に取入れ、ハードディスク上にランダムファイルを作成し、1バイトで8個の座標点と対応させ、ここにビット操作で仮想描画し、プリンタに転送する方法である。今回、その方法を改良したので報告する。①被服製作の基礎理解がない場合でもソフト使用を可能とするため、CAIの手法をメニュー画面に取り入れた。②パソコン機種に依存せず、周辺機器がなくても済むようにした。③プリント時に、転送範囲の指定および縮小転送モードを設定した。④CRT画面のハードコピーとXYプロッタ出力のメニューを追加した。

結果 CRT画面の例を図1と2に、15インチ幅用紙に描画したものを図3(1/2縮小)と4(実寸)に示す。上下の黒丸列は、スプロケット孔を示す。

- 1) 福田、高橋；家政学会第44回大会要旨集。
- 2) 高橋、福田、加治工；同第45回大会要旨集。

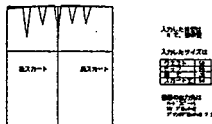
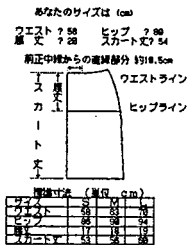


図1(上)、図2(下)

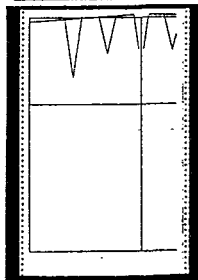
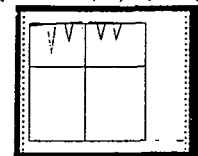


図3(上)、図4(下)